

第6回「和歌山ぶらくり会」を開催しました

令和7年3月15日（土）和歌山商工会議所4階第二会議室にて第6回「和歌山ぶらくり会」を開催しました。

19名の参加を頂き、紀学同窓会からも岡村同窓会長はじめ7名の方に参加頂きました。

今回の卓話講師は、教育学部37期、大学院1期の竹川裕之氏（近畿国立大学附属学校教育後援会連絡協議会 理事長、和歌山大学教育学部附属中学校教育後援会 会長）で

卓話テーマは：「誰もが暮らしやすい共生社会を目指して！！」

～ 障がいを知り共に生きる「あいサポーター研修」～

なお、教育学部50期 山口康平氏 和歌山大学教育学部附属中学校教諭（社会科）が、講師補助として研修を助けて下さいました。



山中支部長 開会挨拶



竹川講師 卓話

障がいを知り 共に生きる



聴講風景



障がいを持った子と、バスで同乗したらどう振舞うか 無関心を装うは駄目
優しく見守り 必要なら手助けする



車椅子実習 障がい者の目線で声掛けして



手話実習 相互理解出来れば壁は無くなる



視力障がいの人が助けを求めている
前方から近づき「お手伝いしましょうか」



肩に手をおいてもらい
障がい者の歩調に合わせてゆっくり誘導



全員起立してアイ・サポーター宣言を唱和



研修終了
ハンドブックとバッチ
をもらった。

《講師自己紹介》

石川県金沢市出身。市内最大手進学塾で7年間講師として活躍。

2000年に独立してforce（フォース）を設立。講師歴33年。

2020年にforce研究実践事業部を設立。

酸化チタン光触媒『nano force one（ナノフォースワン）』を使って、すべての人々が安心して暮らせる環境の創造をめざしている。

また、提携企業の研修と研究も担当。